



日本能楽
全きやらばん

能
「屋島」大事(奈須与一語)
馬野 正基

狂言
「鐘の音」
野村万之丞

おおいた
能楽勸奨祭

秋桜の会

能
「猩々乱」双之舞
観世 淳夫

2022年
10月9日(日)

開場12時/開演13時
終演16時50分予定

平和市民公園能楽堂

入場料(税込) S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円

※全席指定・未就学児童の入場不可

□チケット販売期間：一般/8月2日(火) 10:00～

□チケット取り扱い：平和市民公園能楽堂・ローソンチケット[Lコード:85136]
トキハプレイガイド 097-538-3111

主催：公益社団法人 能楽協会・平和市民公園能楽堂

後援：OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・エフエム大分

J:COM大分ケーブルテレコム・CJOシティ情報おいた・ゆふいんラチオ局

お問合せ：平和市民公園能楽堂 TEL:097-551-5511

URL <http://www.nogaku.jp>



文化庁

文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核とした
アートキャラバン事業



おおいた 能楽勸奨祭 秋桜の会

2022年10月9日(日) 開演13:00



あらすじ

能「屋島」大事 奈須与一語

都から四国へ旅をしてきた旅僧一行は、讃岐の国に入り、源平の古戦場、屋島の浦を訪れます。夕闇迫る頃、一行は浜の塩焼き小屋の主である老いた漁師の帰途に出会います。

一夜の宿を請う旅僧の求めを、老翁は侘び住まいのゆえ、いったん断ります。

しかし、一行が都から来たと聞くや、懐かしんで宿を貸してくれました。旅僧に促され、往時の合戦を語り始めた老翁は、義経の勇猛ぶりや鍛引きの戦いなどを、見てきたかのように生き活きと描きます。不思議に思った僧が名を尋ねると、老翁は義経の亡霊であることをほのめかし、姿を消しました。

夜半に僧が夢待ちをしていると、鎧兜を纏った義経の亡霊が現れます。義経の亡霊は、屋島の合戦で不覚にも弓を流してしまっただが、自らの名を汚すものかと命を惜しまず、敵の眼前に身をさらして取り戻したことを語りました。さらに、修羅道の凄まじい戦いに駆られる様子を見せるうちに夜が明けて、僧の夢は覚め、白波、鷗の声、浦吹く風に化して亡霊は消えていきました。

《小書き》

シテ・囃子方の重い習い事でサシの途中で義経が弓を海に落として流される様を、シテと小鼓の動きで表す。(弓流し)

義経が敵に熊手で邪魔されながらも弓を海上より取り上げるシーンを働き事と囃子事とシテの所作で表す。これを(素働き)と言う。

この弓流しと素働きを合わせて上演する時は、弟子家に限り「大事」と呼びならわす。

《小書き》

「大事」になると謡の曲の緩急が激しくなり、シテの所作もこの曲のみの所作などが出てくる。間の「奈須の語り」とは、間狂言の特殊演出で非常に重い習いとなっている。

狂言「鐘の音」

成長した息子の元服に際し、黄金造りの刀を差させようと思った主人が、召使いの太郎冠者に、鎌倉へ行き「金の値」を聞いて来いと命じます。太郎冠者はそれを「鐘の音」と勘違いして、鎌倉の寺々を巡り歩き、鐘楼堂の鐘について音色を聞き比べて帰宅します。寿福寺、円覚寺、極楽寺、建長寺などで聞いてきた鐘の音を主人に報告しますが…どうなることやら…。

能「猩々乱」双之舞

中国 楊子の里。この里に住む・高風(ワキ)は、夢のお告げに従って酒売りをはじめ、富貴の身になった。彼の店にはいつも不思議な客がやってくるので、尋ねてみると水中に棲む妖精・猩々であるという。彼はその猩々との約束に従い、酒を湛えて潯陽の川のほとりで待っている。

秋風が肌寒く、温め酒の恋しくなる季節。夜も更け、空には月や星が輝いている。のんびりした雰囲気の中、猩々の精(シテ)が現れた。葦の葉擦れは笛の音、打ち寄せる波は太鼓の音。ほろ酔い機嫌の猩々は、興に乗って水上をすべり、波を蹴立てて舞い戯れる。

猩々は、高風の心の素直さを褒め、汲めども尽きぬ酒壺を与える。猩々は酒のめでたさを讃えて舞い戯れていたが、足どりもよろよろとして、酔いのあまり眠ってしまう。そんな猩々の姿を見たかと思ううち、高風の夢は覚めた。あとには、尽きぬ酒の泉が残っているのだった…。

《小書き》 乱

乱とは…通常猩々では中之舞という舞いを舞いますが乱になると、波をけり並の上をさらさらと流れるように見せる流れ足という技法を使い酒に酔い海上で舞い戯れる舞姿を見せます。

《小書き》 双之舞

二匹の猩々(シテ・ツレ)が出現して舞い戯れます。猩々が気ままに遊び戯れるさまを、より一層印象づける演出となっています。

演目・出演者

解説：鵜澤 光

能「屋島」大事 奈須与一語

シテ	馬野 正基	後見	清水 寛二
ツレ	浅見 慈一		北浪 貴裕
ワキ	福王 和幸		安藤 貴康
ワキツレ	村瀬 提	地謡	藤井 完治
ワキツレ	村瀬 慧		山本 章弘
間	野村 万禄		小早川 修
笛	杉 市和		柴田 稔
小鼓	大倉源次郎		長山 桂三
大鼓	河村 大		小早川泰輝
			藤井 文雄
			小早川康充

休憩【15分】

狂言「鐘の音」

シテ	野村万之丞
アド	吉良 博靖
後見	野村 万禄

仕舞

「花筐」	谷村 育子	地謡	鵜澤 久
			西村 高夫
			小早川 修
			鵜澤 光

仕舞

「井筒」	山本 章弘	地謡	馬野 正基
「野守」	山階彌右衛門		浅見 慈一
			長山 桂三
			山本 麗晃

能「猩々乱」双之舞

シテ	観世鍊之丞	後見	山階彌右衛門
シテ	観世 淳夫		鵜澤 久
ワキ	福王 和幸		小早川泰輝
笛	杉 市和	地謡	西村 高夫
小鼓	飯富 孔明		柴田 稔
大鼓	河村凜太郎		北浪 貴裕
太鼓	吉谷 潔		鵜澤 光
			安藤 貴康
			藤井 文雄
			山本 麗晃
			小早川康充

お客様へのお願い

- 体調不良(37度以上の発熱・嘔吐・下痢・咳・痰・味覚障害など)、また2週間以内に海外渡航歴があるお客様は、ご来場をお控えください。
- ご来場の際は、必ずマスクの着用をお願い致します。
- 受付にて検温を実施しております。ご協力ください。(体温が37度以上のお客様は、ご入場をお断りする場合がございます)
- 館内各所に消毒液を設置しております。随時お手元の消毒をお願い致します。
- ★政府・県など行政の要請により中止または延期となる場合もございます。

平和市民公園能楽堂

Tel.097-551-5511 Fax.097-551-5512

〒870-0924 大分市牧線町1番30号

休館日/月曜

※国民の休日と重なった場合はその日以降の休日でない日が休館日

Home page

Face book

Instagram

YouTube

